

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	国語	科目	現代文 B	学年	3	単位	3
教科書(出版社)	高等学校 改定版 標準現代文 B (第一学習社)						
副教材等(出版社)	漢字ボックス (浜島書店) 漢字反復ノート (浜島書店)						

1. 学習の目標

- ・文章の論理構造を把握し筆者の主張を理解する。また文章で扱われている問題について深く考え、日常生活の中にある問題に対して関心を持つ。
- ・小説のより深い鑑賞と読解の力を身に付ける。また生きることをめぐる小説を読むことで、自己と世界とのかかわりを見つめ直す。
- ・詩歌の鑑賞のしかたやさまざまな技法を学ぶ。また各作品に織り込まれた世界認識の方法を学び、自分を取り巻く世界を見つめる目を深める。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・ 生への思索 ・ 小説を読む ・ 世界を見つめる	・ 僕らの時代のメディア・リテラシー ・ 山月記 ・ ワスレナグサ	36
2	・ 社会と人間 ・ 小説を読む ・ 短歌と俳句	・ 経験の教えについて ・ ひよこの眼 ・ 折々のうた	45
3	・ 小説を読む	・ 卒業	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、自らの思いや考えを広げたりしようとしている。	・ 授業への態度 ・ 提出物	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、自らの思いや考えを広げたりすることが十分にできている。	言葉を通じて他者や社会に関わったり、自らの思いや考えを広げたりすることがある程度できている。	言葉を通じて他者や社会に関わったり、自らの思いや考えを広げたりすることが不十分である。
【思考・判断】 文章構成や展開を把握して論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばそうとしている。	・ 授業への態度 ・ 定期考査 ・ 提出物	文章構成や展開を把握して論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことが十分にできている。	文章構成や展開を把握して論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことがある程度できている。	文章構成や展開を把握して論理的に考える力や、深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすことが不十分である。
【表現・技能】 他者との関わりの中で表現の仕方を工夫して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	・ 授業への態度 ・ 定期考査 ・ 提出物	他者との関わりの中で表現の仕方を工夫して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが十分にできている。	他者との関わりの中で表現の仕方を工夫して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることがある程度できている。	他者との関わりの中で表現の仕方を工夫して伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることが不十分である。
【知識・理解】 本文中および漢字ボックスの漢字や語句の意味・用法を理解して、語彙を豊かにしようとしている。	・ 授業への態度 ・ 確認テスト ・ 定期考査 ・ 提出物	本文中および漢字ボックスの漢字や語句の意味・用法を理解して、語彙を豊かにすることが十分にできている。	本文中および漢字ボックスの漢字や語句の意味・用法を理解して、語彙を豊かにすることがある程度できている。	本文中および漢字ボックスの漢字や語句の意味・用法を理解して、語彙を豊かにすることが不十分である。

都立葛飾商業高等学校 令和５年度 年間授業計画

教科	地 理 歴 史	科目	日 本 史 A	学 年	3	単 位	2
教科書(出版社)	高等学校 改訂版 日本史 A (第一学習社)						
副教材等(出版社)	なし						

1. 学習の目標

我が国の近現代の歴史の展開を諸資料に基づき地理的条件や世界の歴史と関連付け、現代の諸課題に着目して考察させることによって、歴史的思考力を培い、国際社会に主体的に生きる日本国民としての自覚と資質を養う。

2. 学習内容

学 期	単 元	授 業 内 容	時 数
1	私たちの時代 日本のあゆみを振り返る 1 章 近代国家の形成と国際関係の推移 開国と幕末の動乱 近代国家の形成 国際関係の推移と近代産業の発展	現代社会から歴史を振り返る 原始、古代、中世、近世の日本 幕藩体制の動揺 世界史の中の日本の開国 幕末の動乱 明治新政府の成立 近代的な諸制度の整備と産業育成 文明開化 士族の反乱と自由民権運動 国会開設 条約改正 日清・日露戦争 産業革命	30
2	2 章 両大戦をめぐる国際情勢 第一次世界大戦と日本 第二次世界大戦と日本	大正政変 第一次世界大戦 大戦景気 協調外交 政党政治の確立 大衆文化の形成 恐慌の時代満州事変 日中戦争 太平洋戦争 題答案共栄圏の実態 戦時下の国民生活 日本の敗戦	30
3	3 章 現代の日本と世界 日本の再出発独立後の政治と経済の発展 現代の日本と世界	占領政策と日本の民主化 冷戦 朝鮮戦争と日本の独立 55年体制 安保闘争 高度経済成長 石油危機 経済大国 バブル経済 冷戦の終結と55年体制の崩壊	10

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 我が国と世界の歴史に関する歴史的事象に課題意識を持ち、提出物に工夫を加えて取り組んでいる。	・授業態度 ・提出物	・我が国の歴史に関する事象に関心を持って取り組み、授業中自主的に発言している。 ・提出物に自分の考えを積極的に記述できている。	・我が国の歴史に関する事象に関心を持って取り組み、授業中適切に発言している。 ・提出物に自分の考えを適切に記述している。	・我が国の歴史に関する事象に関心を持って取り組む様子が、授業態度や提出物の記述に十分にみられない。
【思考・判断・表現】 我が国と世界の歴史的事象から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、提出物や発表において自らの考えを適切に表現できている。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	・我が国と世界の歴史的事象から課題を見出して多角的に考察している。 ・授業中の発表、提出物、定期考査において自らの考えを、根拠を示しながら適切に表現している。	・我が国と世界の歴史的事象から課題を見出して考察している。 ・授業中の発表、提出物、定期考査において自らの考えを適切に表現できている。	・我が国と世界の歴史的事象について考察が不十分である。 ・提出物や発表において自らの考えを表現できていない。
【資料活用能力】 我が国と世界の歴史的事象程に関する有用な資料を収集し、複数の情報を適切に選択し、歴史的事象の考察に活用できている。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	我が国と世界の歴史的事象程に関する有用な資料を収集し、複数の情報を適切に選択し、歴史的事象の考察に活用できている。	我が国と世界の歴史的事象程に関する資料を収集し、情報を適切に選択し、歴史的事象の考察に活用できている。	・我が国と世界の歴史的事象程に関する資料に基づく情報について、歴史的事象の考察に適切に活用できていない。
【知識・理解】 近現代を中心とした我が国と世界の歴史的事象について十分に理解し、知識を身につけている。	・授業態度 ・提出物 ・定期考査	・近現代を中心とした我が国と世界の歴史的事象について十分に理解し、知識を身につけている。	・近現代を中心とした我が国と世界の歴史的事象について概ね理解し、基本的な知識を身につけている。	・我が国と世界の歴史的事象に関する基本的な知識や、理解が十分ではない。

※具体的な評価方法等

・以下の基準により総合的に判断する。

① 4 : 6 = (授業態度・出欠席・提出物・課題・アクティブラーニング) : (定期考査) の割合で評価する。

② 自由課題等の提出物は加点項目とする。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	公民	科目	現代社会	学年	3	単位	3
教科書(出版社)	高等学校 新現代社会(帝国書院)						
副教材等(出版社)							

1. 学習の目標

広い視野に立って、グローバル化が進む現代の社会について主体的に考察し、理解を深めるとともに、人間としての在り方生き方について自覚を持ち、平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民としての能力と態度を身に付ける。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	I 部 現代社会の諸課題とそのとらえ方 現代社会の諸課題 II 部 現代社会の仕組みと私達の生き方 1 章、現代の社会と自己実現 2 章、現代の民主政治と民主社会の倫理 1、民主主義の原理と憲法 2、日本の政治機構と政治参加	・ SDGs の視点から環境、人口、生命、資源・エネルギー、情報の諸問題を取り上げ、考察する。 ・ 青年期の意義と生き方 ・ 宗教・思想 ・ 近代立憲主義 ・ 日本国憲法 ・ 基本的人権 ・ 国会の仕組み ・ 内閣の役割 ・ 世界の政治体制 ・ 司法の役割 ・ 地方自治 ・ 選挙制度	36
2	3 章、現代の経済と国民の福祉 1、市場経済の仕組み 2、豊かな社会の実現を目指して 4 章、現代の国際社会と日本の役割 1、国際経済の動向と貧困の解消	・ 防衛問題 ・ 市場経済 ・ 企業の役割 ・ 政府と財政の役割 ・ 公害対策と環境保全 ・ 消費者の課題 ・ 労働者の権利 ・ 国際経済の仕組み ・ 国際経済の仕組み ・ 経済のグローバル化と自由貿易 ・ 経済格差とその是正	45
3	2、国際政治の動向と平和の追求 III 部 共に生きる社会を目指して 1 章、持続可能な社会のために	・ 現代の国際情勢と紛争 ・ 国連の役割 ・ 核兵器と軍縮 ・ 人権保障 ・ 国際協力 ・ SDGs の視点から現代社会の問題を取り上げ、資料をもとに考察し、グループで話し合い、意見をまとめて発表する。	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 現代社会の諸課題に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	・ 授業態度 ・ 提出物	現代社会の諸課題に対する関心を高め、意欲的に追究するとともに、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を積極的に深めようとする。	現代社会の諸課題に対する関心を高め、追究するとともに、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度を概ね身に付け、人間としての在り方生き方についての自覚を深めようとする。	現代社会の諸課題に対する関心を高め、追究することが不十分であり、よりよい社会の実現に向けて参加、協力する態度や、人間としての在り方生き方についての自覚が身に付けられていない。
【思考・判断】 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	・ 授業態度 ・ 提出物 ・ 定期考査	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を自らの工夫を重ねて表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を表現している。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄から課題を見出し、広い視野に立って考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ判断して、その過程や結果を表現することが不十分である。
【表現・技能】 現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用して学び方を身に付けている。	・ 授業態度 ・ 提出物 ・ 定期考査	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し効果的に活用して学び方を十分に身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し活用して学び方を概ね身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間に関わる事柄に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択し学び方を身に付けることが不十分である。
【知識・理解】 現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を身に付けている。	・ 授業態度 ・ 提出物 ・ 定期考査	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる事柄や学び方を理解し、その知識を十分に身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や学び方を理解し、その知識を概ね身に付けている。	現代社会の基本的問題と人間としての在り方生き方とに関わる基本的な事柄や学び方の理解が不十分で、その知識を身に付けられていない。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	理科	科目	生物基礎	学年	3	単位	3
教科書(出版社)		高校生物基礎新訂版(実教出版)					
副教材等(出版社)		なし					

1. 学習の目標

日常生活や社会との関連を図りながら生物や生命現象について理解するために、目的意識をもって観察、実験を行い、科学的に探究する能力と態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	1章 1節 生物の多様性と共通性 2節 細胞とエネルギー 2章 1節 遺伝情報とDNA 2節 遺伝情報の分配	- 多様な生物とその祖先、細胞の構造と働き(臨時休校中課題) - 代謝とエネルギー、酵素、光合成、呼吸、ミトコンドリアと葉緑体の起源 - ゲノムと遺伝子、DNA研究の歴史、DNAの構造 - 細胞分裂とDNA	36
2	3節 遺伝情報とタンパク質合成 3章 1節 体内環境 2節 体内環境の維持のしくみ 3節 免疫	- 遺伝子とタンパク質、タンパク質の合成、遺伝子の発現 - 体内環境と恒常性、体液とその働き、体液の調節 - 自律神経系による調節、ホルモンによる調節、自律神経系とホルモンによる調節 - 生体防御と免疫、自然免疫のしくみ、獲得免疫のしくみ、ヒトと免疫	45
3	4章 生物の多様性と生態系 1節 植生と遷移 2節 気候とバイオーム 3節 生態系と物質循環 4節 生態系のバランスと保全	- 生物と環境のかかわり、植生とその構造、遷移と極相 - バイオームの分布 - 生態系、エネルギーの流れと物質循環 - 生態系のバランス、人間生活と環境の変化、人間生活と生態系の変化、環境の保全	12

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 日常生活や社会との関連を図りながら生物や生物現象について関心をもち、意欲的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。	授業プリント 実習態度 発言	プリントの記載が正しくできしており、独自の工夫がみられる。 実習に探究心をもって意欲的に取り組んでいる。 発問に対し、積極的に答える。	プリントの記載が正しくできている。 実習に自発的に取り組んでいる。 指名された発問に対し答えられる。	プリントの記載や考察などができてない。 実験や発表などに取り組む意欲が見えない。
【思考・判断】 生物や生物現象の中に問題を見だし、探究する過程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	授業プリント	考察や自分の考えをまとめ、表現できる。 発表活動で発展的な課題を生成することができる。	教材資料等から、考察を導き出すことができる。 発表活動に自発的に取り組むことができる。	積極的に自分の考えを表現することができない。 発表活動における調べ活動を行わない。
【表現・技能】 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能の基礎を身に付けている。	授業プリント 実習態度 実験レポート 発言	実験操作を、手順通り適切に行うことができる。 スケッチ等が正確・丁寧に描かれ、必要事項が記入されている。	実験操作を、おおむね適切に行うことができるが、良い結果を得られないことがある。 スケッチ等がほぼ正確に描かれ、必要事項が記入されている。	誤った実験操作をすることが多い。 実験操作を他人に委ねるなど、実験に参加していない。 スケッチが雑である。必要事項が記入されていない。
【知識・理解】 生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則を理解し、知識を身に付けている。	授業プリント 定期考査	与えられた課題に対して、十分に理解している。	与えられた課題に対して、半分程度の理解をしている。	課題を理解していない。課題に取り組んでいない。

※具体的な評価方法等

・以下の基準により総合的に判断する。

(授業状況・出欠・提出物・アクティブラーニング) : (定期考査) = 1 : 2 の割合で評価する

都立葛飾商業高等学校 令和５年度 年間授業計画

教科	保健体育	科目	体育（３年）	学年	3	単位	2
教科書（出版社）	現代高等保健体育（大修館書店）						
副教材等（出版社）	現代保健体育ノート（大修館書店）						

1. 学習の目標

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
ルールや運動の効率的な行い方を理解させる。 運動や技能の効率的な行い方を身に付け、運動やスポーツを楽しく行えるようにする。	自己や仲間の体力や技術に合わせて工夫して取り組むことができるようにする。 他者の考えを理解した上で、自分の考えを適切に他者に伝える力を育む。	運動やスポーツを行う上での自己の課題を捉え、課題を解決するために積極的に取り組むことができる。運動やスポーツの興味・関心の幅を広げ、自ら研究していこうとする態度を育む。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	・オリエンテーション ・体づくり運動 ・陸上競技 ・球技 バレーボール（ネット型）	○体育の授業における注意事項の確認 ○新体カテストの練習及び記録測定 ラジオ体操や大縄跳びなど、体ほぐしの運動及び体の動きを高める運動の実施 ○短距離走（５０ｍ）のスタート、加速疾走、フィニッシュなどの練習及び記録測定 長距離走（男子１５００ｍ、女子１０００ｍ）の記録測定 ○レシーブ、スパイク、サーブなど基本的な技能の確認 ３段階攻撃のなど、コンビネーションを試合形式練習 リーグ戦の実施	24
2	・球技 バドミントン（ネット型） ソフトボール （ベースボール型） バスケットボール （ゴール型） サッカー（ゴール型）	○サーブ、クリア、スマッシュ、ロビングなど基本的な技能の確認 シングルスやダブルスによるリーグ戦の実施 ○バッティング、キャッチング、ピッチングなどの基本的な技能の確認 集団で連携した攻撃や守備練習 リーグ戦の実施 ○シュート、ドリブル、パスなど基本的な技能の確認 空間に入り込む、味方のために空間をあけるなど、集団戦術を高める練習 リーグ戦の実施 ○シュート、ドリブル、パスなどの基本的な技能の確認 空間に入り込む、味方のために空間をあけるなど、集団戦術を高める練習 リーグ戦の実施	30
3	・球技 バレーボール バドミントン ソフトボール バスケットボール サッカー など 生徒主体の授業運営	○バレーボール、バドミントン、ソフトボール、サッカー、バスケットボールなど球技の中から、授業ごとに種目を選択し生徒主体の授業運営	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【知識及び技能】 ・ 運動や技能の効率的な行い方やルールを理解している。 ・ 運動や技能を効率的に行えている。	実技テスト 授業観察	運動や技能の効率的な行い方やルールを理解し、運動や技能を効率的に行い、仲間とともに楽しむことができる。	運動や技能の効率的な行い方やルールを概ね理解し、運動や技能を効率的に行うことが概ねできている。	運動や技能効の率的な行い方やルールの理解が不十分であり、運動や技能を効率的に行うことが不十分である。
【思考力、判断力、表現力等】 ・ 自己や仲間の体力や技術に合わせて学習に工夫して取り組んでいる。 ・ 自己の考えを適切に他者に伝えている。	実技テスト 授業観察	自己や仲間の体力や技術に応じて工夫して学習に取り組み、他者の考えを理解した上で、自分の考えを適切に他者に伝えることができる。	自己や仲間の技術に応じて工夫して学習に取り組むことが概ねできている。 自分の考えを適切に他者に伝えることができる。	自己や仲間の技術に応じて工夫して学習に取り組むことが不十分である。 自分の考えが他者に伝わりきっていない。
【学びに向かう力、人間性等】 ・ 運動やスポーツを行う上での自己の課題を捉え、課題を解決するために取り組んでいる。	授業観察	運動やスポーツを行う上での自己の課題を捉え、課題を解決するために自主的に取り組み、仲間の学習を援助することができる。	運動やスポーツを行う上での自己の課題を捉えることや、課題を解決するため取り組みが概ねできている。	運動やスポーツを行う上での自己の課題を捉えることや、課題を解決するための取り組みが不十分である。

都立葛飾商業高等学校 令和５年度 年間授業計画

教科	外国語	科目	英語会話	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	My Passport English Conversation(文英堂)						
副教材等(出版社)	・ フェイバリット英単語・熟語＜テーマ別＞コーパス１８００ New Edition (東京書籍) ・ ワークシート						

１．学習の目標

- ・ 英会話で必要とされる汎用的なフレーズを話したり、書いたりすることができる。
- ・ 基本的で日常的な質問やその答えを瞬時に話したり、書いたりすることができる。
- ・ 使用場面を意識して、自分の伝えたいことを簡単な英語で伝えたり、相手を理解したりできる。
- ・ 高校レベルの英単語を読んだり聞いたりして、理解することができる。

２．学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	Lesson 1 Making Conversation Lesson 2 At the Hotel Lesson 3 Going Sightseeing Lesson 4 Small Business Lesson 5 Eating Out	・ ALT/JET と TT を行う。 ・ 簡単な自己紹介ができるようにする。 ・ 予定を決める際に使う英語や、駅で道を聞いたり聞かれたりしたときに対応できる英語を学ぶ。 ・ 主に国内で使う可能性のある英会話を学ぶ。 ・ 外食時や買い物をするときに使う英語を学ぶ。	24
2	Lesson 6 Going Shopping Lesson 7 Public Transportation Lesson 8 Getting Help Lesson 9 Going Out Lesson 10 Taking a Flight	・ ALT/JET と TT を行う。 ・ 外食時や買い物をするときに使う英語を学ぶ。 ・ コーパス１８００を用い、高校レベルの英単語力を養う。 ・ ペア活動等を通じ、英語でやり取りする。 ・ プレゼンテーションや英会話などの発表活動をする。	30
3	Culture Talk 1 Family Introduction Culture Talk 2 Body Language Culture Talk 3 Schedule Culture Talk 4 Telephone Culture Talk 5 Letters / E-mail Culture Talk 6 School Life Culture Talk 7 Japanese Manners Culture Talk 8 Traditional and Pop culture Culture Talk 9 Origami Culture Talk 10 Cooking	・ ALT/JET と TT を行う。 ・ 主に海外に行った際に使うであろう英会話を学ぶ。 ・ 電話やメールなど、社会人に必要な力を英語で学ぶ。 ・ コーパス１８００を用い、高校レベルの英単語力を養う。 ・ ペア活動等を通じ、英語でやり取りする。 ・ プレゼンテーションや英会話などの発表活動をする。	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 積極的にコミュニケーションを取ろうとしている。英会話を練習する意欲があり、英語を身につけようとしている。	提出物 単語テスト 発表活動 授業態度	積極的にコミュニケーション活動に参加し、意欲的に英語を練習したり身につけようとする態度がみられる。	コミュニケーション活動に参加し、英語を練習したり身につけようとする態度がみられる。	コミュニケーション活動に参加し、英語を見つめようとする意欲がない。
【思考・判断】 言いたいこと/書きたいことを整理し(思考)、会話の流れなどの状況に適した形で(判断)スピーキングやライティングをしようとしている。	提出物 単語テスト 発表活動 授業態度	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえ、自分の考えを平易な英語を用いて正確に伝えられる。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえ、自分の考えを平易な英語を用いて概ね正確に伝えられる。	英語を読んだり聞いたりして、情報や考えなどの概要をとらえていない。また自分の考えを平易な英語を用いて伝えることができない。
【表現・技能】 英語の語順や発音に気を付けながら、意思疎通が可能なレベルの英語をアウトプットしている。	提出物 単語テスト 発表活動 授業態度	語順や文法等を意識したアウトプットができている。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が見られる。	語順や文法等を意識したアウトプットが概ねできている。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が概ね見られる。	語順や文法等を意識したアウトプットができていない。また、活動を通して、英語を用いた表現力や技能を高める態度が見られない。
【知識・理解】 会話の流れを理解し、その流れに適した英語表現を知識として持っている。日常生活で使う英単語や高校の標準的な英単語を身につけている。	提出物 単語テスト 発表活動 授業態度	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を十分に理解している。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についても十分に理解している。	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を概ね理解している。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についても概ね理解している。	英語による情報や考えを聞いたり読んだりして、その内容を理解していない。主題をとらえ、背景にある知識や問題点についての理解ができていない。

※具体的な評価方法等

- ① 授業状況・提出物・小テスト・発表課題・ペーパーテストの結果に基づき評価する。
- ② 検定試験の結果は加点項目とする(減点要素とはしない)。

都立葛飾商業高等学校 令和5年度 年間授業計画

教科	家庭	科目	家庭総合	学年	3	単位	2
教科書(出版社)	高等学校 家庭総合 (第一学習社)						
副教材等(出版社)	生活学 Navi 資料+成分表 2022 (実教出版)						

1. 学習の目標

人の一生と保育、住生活、食生活などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実を図る能力と実践的な態度を育てる。

2. 学習内容

学期	単元	授業内容	時数
1	第2章 次世代を育む	・ こどもの発達 ・ 親の役割 ・ 子育て支援と福祉 ・ 探求：子どもと遊び	26
	第10章 生活の充実・向上をめざして	・ ホームプロジェクト 計画	4
2	第10章 生活の充実・向上をめざして	・ ホームプロジェクト 発表	4
	第6章 食べる	・ 人の一生と食事 ・ 栄養と食品 ・ 食生活の安全 ・ 探求：食生活のデザイン	28
3	第8章 住まう	・ 人の一生と住まい ・ 住生活の計画と選択 ・ これからの住生活 ・ 探求：災害時トイレアクション	8

3. 評価規準・評価方法

評価の観点	評価方法	A (良い)	B (概ね達成)	C (不十分)
【関心・意欲・態度】 授業や実習への参加態度や提出物の状況から、主体的に学習に取り組もうとしているか。	授業態度 提出物	プリントの記載は工夫を重ねてできている。	プリントの記載を正しくできている。	プリントの記載や考察などができていない。
【思考・判断・表現】 各項目における課題を、その解決に向けてまとめたり、発表したりしているか。	定期考査 授業態度 提出物	考察や自分の考えをまとめ、表現できる。発表活動で発展的な課題を生成することができる。	発表活動に自発的に取り組むことができる。	発表活動における調べ学習・考察を行わない。
【技能】 実習や発表などにおいて、正確に、丁寧に創造的に取り組んでいるか。	授業態度 提出物	実習を、手順通り適切に行うことができる。完成した作品が創造性に富んでいる。	実習を、おおむね適切に行うことができるが、誤った手順をすることがある。作品を条件通りに完成させている。	誤った手順をすることが多い。実習を他人に委ねるなど参加していない。作品が完成していない又は完成度が著しく低い。
【知識・理解】 定期考査・実習作品、プリントを通して、必要な知識について理解しているか。	定期考査 提出物	与えられた課題・実習に対して、十分に理解している。	与えられた課題・実習に対して、半分程度の理解をしている。	課題・実習を理解していない。課題・実習に取り組んでいない。

※具体的な評価方法等

- ・以下の基準により総合的に判断する。
- ・平常点（授業態度・出欠・提出物）：定期考査＝4：6